

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-オ	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興
			施策の小項目名	OMICE関連産業の創出
主な取組	主催者等とのマッチングイベント開催			
対応する主な課題	②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
主催者等への誘致活動と産業界の取組を促進する。						
実施主体	県、OCVB		主催者等への誘致活動と産業界の取組促進			
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課	【098-866-2077】				
	商工労働部アジア経済戦略課	【098-866-2340】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	展示会等総合推進事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
	主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	
一括交付金(ソフト)	委託	-	-	15,369	15,507	17,652	13,899	一括交付金(ソフト)	OR2年度： MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施した。 OR3年度： MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施する。
予算事業名	展示会先進地等調査						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
	主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	
一括交付金(ソフト)	委託	-	21,120	-	-	-	-	-	OR2年度： 展示会等総合推進事業の中で展示会先進地等の情報収集を行った。 OR3年度： 展示会等総合推進事業の中で展示会先進地等の情報収集を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	推進体制を構築	誘致等実施	誘致等実施	誘致等実施	誘致等実施	100.0%	17,652	順調	<p>国内外の展示会開催地の調査や主催者への誘致活動を実施した。</p> <p>また、産官学連携を図るため、沖縄MICEネットワークを運営するとともに、産業界の取組を促進するための勉強会等を実施した。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県を跨いだ移動制限等により、主催者への誘致活動は縮小せざるを得なかったものの、感染状況の落ち着いた時期に、集中的に誘致活動を実施した。</p> <p>また、県内で実施される展示会等への開催支援や、開催可能性のある有望案件の主催者との調整、沖縄MICEネットワークにおける展示会等誘致開催検討会を実施した。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> MICEに携わる専門家等との連携を強化する。 						<ul style="list-style-type: none"> 展示会等誘致開催検討会において、県外の展示会等主催者や展示会施設運営者との意見交換等を通して、誘致のために必要な取組や効果的な開催支援メニューについて検討を行うことにより、県内での展示会等の開催に向けた産業界の取組促進を図った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

○外部環境の変化

- ・アジア・太平洋地域の販売展示会面積は増加傾向にあり、アジアの経済発展に合わせて展示会の開催需要が高まっている。
- ・展示会・商談会は経済波及効果や産業育成効果が高いことから、県内経済界を中心に、期待が高まっている分野である。
- ・新型コロナウイルスの影響により、展示会等の開催形式が従来の対面形式だけでなく、オンラインやハイブリッド形式により開催されるようになってきている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・国内外の先進地等と引き続き連携する。
- ・MICEに携わる専門家等との連携により、誘致活動や産業界の取組促進に関するノウハウの蓄積や情報収集を行う必要がある。
- ・ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、展示会等の誘致・開催について検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・MICEに携わる専門家等との連携強化に継続して取り組む。
- ・新型コロナウイルスの影響を考慮し、県外展示会等主催者への効果的な誘致活動の実施方法について検討する必要がある。

様式1(主な取組)

活動指標名	ユニークベニュー、体験プログラム、MICE限定商品・サービスの開発促進				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	4,576	順調	焼失した首里城の「見せる復興」に向け、 ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典in沖 縄において首里城でレセプションを行うな ど、首里城を活用したレセプションプロ グラムを実施した。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 焼失した首里城の「見せる復興」に向け、 ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典in沖 縄において首里城でレセプションを行うなど、 首里城を活用したレセプションプログラムを 実施したことは、今後のユニークベニュー活 用のモデルケースとなった。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 勉強会や沖縄MICEネットワークウェブサイトなどとおして、国内外や県内の先進事例紹介を行なう必要がある。 受入体制の充実をめざし、引き続き受入の中心となる団体等へ支援を継続する。 						<ul style="list-style-type: none"> ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典in沖縄において、沖縄の魅力あるコンテンツを全国のバイヤーに伝えることができたことは、今後の沖縄でのMICE開催を推進し、プログラムを実施している団体等へのビジネスチャンスにつながった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・都市間の誘致競争が激しいため、沖縄独自の魅力あるMICEコンテンツを充実させる必要がある。
- ・次期沖縄振興計画は、SDGsを取り込んだ計画となる予定である。

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、MICE開催中止、延期、規模の縮小が相次いでいる。
- ・県外でMICE施設の建設が相次いでおり、都市間の誘致競争が厳しさを増している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・コロナ禍でも引き続き沖縄でMICEを開催していただくために、県内の感染症対策を適切に発信し安全・安心な沖縄MICEの構築を図る必要がある。
- ・都市間の競争に勝てるようデジタルトランスフォーメーションやサステナビリティ等、新たな社会的取組を推進することにより他都市との差別化を図る。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響下でも有効な受入体制を整備する。

4 取組の改善案 (Action)

- ・新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン、SDGsを活用したサステナビリティガイドラインを策定する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-才	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興
			施策の小項目名	OMICE関連産業の創出
主な取組	MICE専門事業者の集積			
対応する主な課題	②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
主催者等への誘致活動と産業界の取組を促進する。						
実施主体	県	主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 商工労働部アジア経済戦略課	【098-866-2077】				
		【098-866-2340】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)		
予算事業名	展示会等総合推進事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	-	-	15,369	15,507	17,652	13,899	一括交付金(ソフト)	OR2年度： MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施した。 OR3年度： MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施する。
予算事業名	展示会先進地等調査						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	-	21,120	-	-	-	-		OR2年度： 展示会等総合推進事業の中で展示会先進地等の情報収集を行った。 OR3年度： 展示会等総合推進事業の中で展示会先進地等の情報収集を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動と産業界の取組促進				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	推進体制を構築	誘致等実施	誘致等実施	誘致等実施	誘致等実施	100.0%	17,652	順調	<p>国内外の展示会開催地の調査や主催者への誘致活動を実施した。</p> <p>また、産官学連携を図るため、沖縄MICEネットワークを運営するとともに、産業界の取組を促進するための勉強会等を実施した。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県を跨いだ移動制限等により、主催者への誘致活動は縮小せざるを得なかったものの、感染状況の落ち着いた時期に、集中的に誘致活動を実施した。</p> <p>また、県内で実施される展示会等への開催支援や、開催可能性のある有望案件の主催者との調整、沖縄MICEネットワークにおける展示会等誘致開催検討会を実施した。</p>
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> MICEに携わる専門家等との連携を強化する。 						<ul style="list-style-type: none"> 展示会等誘致開催検討会において、県外の展示会等主催者や展示会施設運営者との意見交換等を通して、誘致のために必要な取組や効果的な開催支援メニューについて検討を行うことにより、県内での展示会等の開催に向けた産業界の取組促進を図った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・大型MICE施設の供用開始時期が定まっていない。

○外部環境の変化

- ・アジア・太平洋地域の販売展示会面積は増加傾向にあり、アジアの経済発展に合わせて展示会の開催需要が高まっている。
- ・展示会・商談会は経済波及効果や産業育成効果が高いことから、県内経済界を中心に、期待が高まっている分野である。
- ・新型コロナウイルスの影響により、展示会等の開催形式が従来の対面形式だけでなく、オンラインやハイブリッド形式により開催されるようになってきている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・国内外の先進地等と引き続き連携する。
- ・MICEに携わる専門家等との連携により、誘致活動や産業界の取組促進に関するノウハウの蓄積や情報収集を行う必要がある。
- ・ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、展示会等の誘致・開催について検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・MICEに携わる専門家等との連携強化に継続して取り組む。
- ・新型コロナウイルスの影響を考慮し、県外展示会等主催者への効果的な誘致活動の実施方法について検討する必要がある。